



さいたま市議会議員

やなか信人
のぶ と

発行責任者：谷中信人 公明党控室：浦和区常盤6-4-4 自宅：浦和区瀬ヶ崎1-4-1

令和8年度 予算編成への要望を市長に提出 — 未来に向けた投資と、暮らしを支える提案を —

この要望書では、私からの提案でもある「自立型AIエージェントの活用」「人に優しいデジタル化の推進」など、これからの時代に欠かせないデジタル施策を重点に掲げ、行政の効率化と市民サービスの向上を目指しています。また、防災・減災、男女共同参画、地域経済の活性化、教育・福祉・スポーツ・文化振興など、現場の課題に即した多分野の提案を盛り込みました。特に、子育て支援や高齢者の生活支援、地域交通の充実など、さいたまらしい持続可能な都市づくりにつながる施策を重視しています。

9月29日、公明党さいたま市議会議員団は「令和8年度予算編成並びに施策に対する要望書」を清水市長に提出しました。1年間の議会質疑、市民の皆さまからの声、地域団体・事業者との意見交換を踏まえて取りまとめました。

今後は、議会での議論や委員会審議、市執行部との協議を通じて、これらの提案を着実に実現へとつなげてまいります。市民の皆さまの声を力に、未来を見据えたまちづくりをさらに前進させてまいります。



福祉まるごと相談窓口 高齢・介護・子育てなどワンストップで



「どこに相談すればいいかわからない」「複雑な手続きが大変」——。こうした市民の声に応えるため、公明党が推進してきた「福祉まるごと相談窓口」と「書かない窓口」が、浦和区でのモデル事業を経て市内全区へ広がりました。

取り組みの契機は平成27年、私どもの会派が大阪府豊中市の「福祉なんでも相談窓口」を紹介したことにあります。同市では分野横断で相談に応じる体制が整っており、本市でも制度の狭間にある市民を支える「新しいケアシステム」と、担い手不足を補う「ICT活用」が不可欠だと訴えました。

その後、平成29年には「福祉コンシェルジュ」を提案するなど、市民相談の充実を一貫して求めてきました。こうした粘り強い提案が実を結び、令和4年に「福祉まるごと相談窓口」が実現。高齢・介護・子育てなど複数の課題を抱える場合でも、一つの窓口でワンストップ支援が可能となりました。

あわせて導入された「書かない窓口」では、マイナンバーカード等の活用で氏名や住所の記入を繰り返す負担を減らし、手続きの効率化を実現しています。今後は対面相談に加え、ICTを活かした「24時間オンライン相談サービス」の実現にも取り組んでまいります。



yanaka.nobuto@yanaka.saitama.jp

市政報告はホームページ→ <http://yanaka.saitama.jp>

電話 048-829-1812 (市議会公明)

FAX 048-886-2464



福祉と子育てを支える人を守るために 9月議会で意見書などの議案を採択

9月3日から10月17日までの45日間にわたり、さいたま市議会9月定例会が開かれました。いま、国の地域手当改定によりさいたま市など都市圏の福祉施設の報酬や措置費が引き下げられ、保育士や介護職などの人材確保に深刻な影響が懸念されています。すでに都市部では人材不足が続いており、このままでは施設運営やサービスの質が低下しかねません。

今回採択された議員提出議案第5号「地方の福祉人材確保の取組に向けた財政措置を求める意見書」は、こうした不均衡を是正し、地方の現場で働く人が安心して続けられるよう国に対して十分な財政措置を求めることを求めています。

決算規模は過去最大となりました。議会からは入札不調の改善、学校施設の安全管理、地域交通の支援、市立病院の人材育成など13項目の提言を市長に提出しました。また、子育て支援やゼロカーボンシティの推進に向けた補正予算が可決されました。



未来のまちを走る！ 浦和からはじまる新しい公共交通のかたち -自動運転バスとグリーンスローモビリティ-

さいたま市では、人口減少や高齢化が進む中で、誰もが安心して移動できる「次世代のまちづくり」に挑戦しています。

その取り組みの一つが、北浦和駅西口～埼玉大学間で行われる自動運転バスの実証実験です。国際興業バスが運行するこの区間は約3.7キロ。運転手不足への対応や交通の安全確保、脱炭素化を目的に、AIとセンサーを活用した走行が試されています。実験は令和7年11月4日から13日まで平日に実施され、北浦和・南与野・埼大をつなぐ新しい交通モデルとして注目されています。

また、北浦和・針ヶ谷周辺ではグリーンスローモビリティ(GSM)の実証実験が進んでいます。電動でゆっくり走る小型車両を地域ボランティアが運転し、高齢者の買い物や通院など日常の移動を支える試みです。乗り合わせによる地域の



つながりづくりや、外出機会の増加など、地域コミュニティの再生にも効果が期待されています。

これらの実験は、単なる新技術の導入ではなく、「人の暮らしを中心に据えた交通まちづくり」への大きな一歩です。公明党市議団もこれまで、地域交通の確保と新技術の導入を予算要望として重ねてまいりました。今後も現場の声を生かしながら、誰もが自由に移動できるまち、そして笑顔がつながる浦和をめざして、しっかりと取り組んでまいります。

公明党 さいたま市議会議員(浦和区)

やなか 信人

Yanaka Nobuto

所属委員会

- 総合政策委員会
- 議会広報委員会



ご意見・ご要望はやなか信人へ

事務所 〒330-9588 浦和区常盤6-4-4
TEL 048-829-1812
FAX 048-886-2464
MAIL yanaka.nobuto@yanaka.saitama.jp



202512